

令和6年度 光が丘地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和6年12月8日（日）午後2時30分から午後4時07分まで
- 2 場 所 光が丘公民館 大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、鈴木教育長、萱野中央区長、兼杉中央区副区長、榎本市民局長
こども・若者政策課 本多主査
- 4 出席委員等 25人（うち中学生7人）
- 5 傍聴者 11人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ	中学生と共に考える光が丘地区のまちづくり
概要	<p>光が丘地区まちづくり会議では、3つの専門部会を設置しており、そのひとつの「子育て環境・健全育成部会」において、これまで子どもの居場所づくりや安全な環境を守る活動について、議論を行ってきた。</p> <p>また、光が丘地区では子どもたちが主体となって企画・運営を行う「こども未来ワールドin光が丘」の開催など、子どもたちの自立性や考える力を養い、将来、地域の担い手となってもらえるよう、若い世代の育成に力を入れた取組を行っている。</p> <p>今年度のまちづくり会議では、次世代を担う若者（中学生）たちの柔軟な発想や視点から見たまちづくり等について、自ら考え、率直な意見交換を行いつつ、大人が普段気づかないような課題発見が出来たら良いという想いのもと、光が丘地区社会福祉協議会が主宰している「こどもまちづくり会議」と連携し、中学生参加によるまちづくりを考える懇談会の開催を検討してきた。</p> <p>懇談会を実施するにあたり、事前に緑が丘中学校、弥栄中学校、上溝中学校の生徒に対して、アンケート（「市長さんへの質問」「市長さんへ伝えたいこと」）を行った。</p> <p>中学生へ実施したアンケートでは、近年の気温上昇により、体育館や武道場などにエアコンが設置されていないため、体育の授業や部活動の実施に支障がある、地域内に勉強が出来る自習スペースを設置して欲しい、友達と楽しく食べることができる温かくて美味しい学校給食の提供をしてもらいたいなど、中学生が考える学校活動や地域に関する課題や要望など様々な意見が集まった。</p> <p>光が丘地区としても、少子高齢化、人口減少社会を迎える中、国（こども家庭庁）においては、「こどもまんなかアクション」が進められていることや、本市においても、子どもの施設使用料を無料化することで居場所づくりの推進を行い、子どもが健やかに伸び伸びと成長できるような環境づくりが進められているものと承知しているが、これからのまちづくりを進めていく上では、より一層、若い世代の意見を聴くことや、若い世代の地域活動への参画が大変重要であると考えている。</p> <p>こうしたことから、将来を担う若い世代が住みよく、活気ある地域を実現していく一助とするため、将来を見据えた光が丘地区のまちづくりについて、中学生の自由な発想や想いを大切にしながら、中学生と共に、地域と行政でぎっくばらんに意見交換を行いたい。</p>

<p>地区の取組 状況等</p>	<p>【こどもまちづくり会議】 光が丘地区社会福祉協議会では、平成26年から地区内の様々な団体と連携・協力し、「子どもの視点で住みよいまちづくりを考える」をスローガンに掲げ、周辺地域の中学生たち（緑が丘中学校、弥栄中学校、上溝中学校）が主体となって、“今、自分たちの地域に何が必要か”を考え、自由に意見を交換し合う場として、「こどもまちづくり会議」を開催している。これまで、同会議では、「自転車事故対策」や「防災・防犯」等に関する様々な議論、取組を行っている。</p> <p>【光が丘地区こども応援団】 「こどもまちづくり会議」の運営には、子どもたちが安心できる安全な環境づくりを目標に学校、PTA、地域団体が連携し、運営されている「光が丘地区こども応援団」が携わっている。</p> <p>同団体は、「こどもまちづくり会議」の運営のほか、「いつでも」を心掛けた子どもたちの見守り活動を展開するなど、安心して安全な環境づくりのために活動を行っており、令和4年度からは地域住民の皆様に協力をいただきながら、犬の散歩時に合わせて見守り活動を実施する「わんわんパトロール」事業を開始している。また、光が丘公民館で開催されているこども食堂の立ち上げ支援を行うなど、地域の子どもたちのために精力的に活動を行っている。</p> <p>【こども未来ワールドin光が丘】 子どもたちが主体の実行委員会を立ち上げ、イベントの企画、運営を実際に経験する場を提供することで将来の地域の担い手を育て、地域全体の活性化を目的として、平成28年度からこれまで計7回「こども未来ワールドin光が丘」が開催されてきた。</p> <p>令和4年度からは青葉小学校を会場とし、子ども企画（射的、工作など）、段ボール迷路といった様々なブースを設けながら盛大に開催されている。</p>
----------------------	--

懇談内容	
中学生の発言	市内全ての中学校の体育館や武道場等へエアコンが設置されるのはいつ頃か。
市の発言	<p>避難所になっている小中学校もあるので教育委員会と相談をして、来年度までにエアコンがある体育館が各まちづくり区域に1か所はあるように取り組んでおり、今年度は上溝中学校に設置し、来年度は緑が丘中学校に設置する予定である。弥栄中学校などに関しては、令和8年度以降に教育委員会と相談をして随時設置を進めていきたい。</p> <p>理科室や家庭教室などの特別教室については、令和5年度に弥栄中学校に設置しており、その他の学校も鈴木教育長と連携して、随時設置を進めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">（本村市長）</p>
中学生の発言	弥栄中学校の体育館にエアコンは設置されていないが、2年以内に設置することは困難か。
市の発言	中学校では、来年度で34校中14校が完了する。体育館でバドミントンなどをやる際は窓などを閉め切らないといけないので、一刻も早く整備していきたいと市長とも話しているが、いつまでに設置できるかは今の段階では言えない。

	<p>普通教室は全校設置が完了しているが、弥栄中学校以外の緑が丘中学校や上溝中学校の特別教室には設置されていないので、体育館と特別教室への設置をどう進めるか教育委員会で考えている。 (鈴木教育長)</p> <p>体育館でいうと、南区にあるギオンアリーナ（総合体育館）には空調が設置されているが、緑区にあるほねごりアリーナ（北総合体育館）には設置がされていないため、長寿命化・耐震化とともになるべく早く早く対応していきたい。 (本村市長)</p>
中学生の発言	<p>今、受験生だが、上溝中学校の中でも作の口の人たちはアルファリンクで自習している人がほとんどで、塾に通っていない人たちは、自分の家では集中できないという意見を聞く。そのため、地域に集中して勉強ができる自習スペースを設置していただきたい。</p>
市の発言	<p>アルファリンクは開かれた物流施設で、市民開放や保育所、サッカー場など、色々な形で市民に開放してもらっているが、光が丘地区内にはそういった施設がないことを地元の方からも聞いている。</p> <p>令和7年3月に青葉小学校、その次に南区のもえぎ台小学校そして並木小学校と閉校が続いていく。そういった中で、令和3年度から割柏会長を先頭にワークショップや市民検討会等を開催し、子どもたちや地域の方々と対話を行いながら閉校後の施設の利活用や基本理念について検討を進めてきた。</p> <p>今年度からは新たに（仮称）光が丘地区複合施設市民検討会を設置し、公民館や児童館が入る複合施設の諸室構成やゾーニングなど、より具体的な整備内容について検討を進めており、市民検討会での議論を深めたのち、令和7年度中に基本計画を策定し、設計・工事を経て令和12年頃の複合施設の供用開始を目標に取組を進めている。</p> <p>鹿沼台にある市立図書館で勉強をする人もいるかもしれないが、今後、鹿沼公園の中に新しく図書館を含んだ複合施設を作る予定である。</p> <p>また、以前に大和市文化創造拠点シリウスという施設に視察に行ったが、人が集まる場所がたくさんあった。それを見て、やはり集える場所を作らなければいけないと思っているので、形にできるように頑張っていきたい。 (本村市長)</p>
中学生の発言	<p>青葉小学校でクラブチームのバドミントンの練習をしているが、閉校に伴い、体育館の貸し出しなどがどうなるのか説明していただきたい。</p>
市の発言	<p>まだ決まっていないところが多いが、基本的には廃止する方向であることから、貸し出しができないかもしれない。耐震性などを確かめて、今後の利用について考えていくことになると思う。 (萱野中央区長)</p> <p>貸し出しをするためには人がついて、色々な事務をやらないといけないが、学校の先生もいなくなってしまうので、一旦貸し出しは中断して、令和12年度以降のオープンした後は、また地域の皆様に使えるようにしていきたいと検討している。 (こども・若者政策課 本多主査)</p>
中学生の発言	<p>近くで練習できる場所が、並木小学校と青葉小学校の二か所しかない。光が丘小学校もあるが予約で埋まっていることがほとんどである。今後、部活動がなくなってクラブチームへの移行が多くなっていくと思うので、近隣にそういった使</p>

	用できる場所を増やしてほしい。
市の発言	<p>今は、学校長の判断で学校の開放が決まるが、鈴木教育長に105校の全てを開放するべきではないかと話をしている。</p> <p>他にも青葉小学校が使えない時期に和泉短大の体育館を使わせてもらえないか市からお願いするなど、そういったことも考えていきたいと思っているので、皆様からも「やってほしい!」ということを遠慮なく言ってほしい。(本村市長)</p>
中学生の発言	給食について、小学校は給食室があって自由に量を調節できたが、中学校は最初から入れ物に入っているのでも量を調節することができず、男子だと5分くらいで食べ終わって、まだ食べられるのにと感じる感じが、女子は量が多いと感じる人もいます。個人差があるので、自分で量を調節できるような給食を食べたい。
市の発言	<p>中学校の給食については鈴木教育長と非常に議論をしてきた。その中で、令和3年度にタブレットを使って小学校の時のような温かい給食を食べたいかという質問をしたところ、食べたいという回答が大変多かった。保護者からも教員からも同じような声をいただいたので、「よし、これはやろう!」ということで、令和8年12月から中学校給食の全員喫食が始まることとなっている。</p> <p>現在の中学校給食はセンター方式と選択制デリバリー方式で提供しているが、古淵にある旧東清掃事業所跡地に南部の学校給食センターを整備し、光が丘地区周辺であれば緑が丘中学校、弥栄中学校、由野台中学校に給食が届く。また、大島にある旧県立相模原総合高等学校跡地に北部の学校給食センターを整備し、上溝中学校に届くようになる。</p> <p>12月の議会で業者が正式に決まると、令和8年12月の全員喫食に向けて一気に事業が進んでいく。炊き出しができるような防災機能を強化した給食センターを整備しようと思っているので、ぜひ後輩などに伝えてほしい。(本村市長)</p>
市の発言	<p>例えば鶏のから揚げの時は給食の注文が多く、魚の時は注文が少ないが、そういうものなのか。(鈴木教育長)</p>
中学生の発言	<p>たまにメニューを見て決めたり、後は両親の仕事の状況で決めたりする人もいます。魚の中でも鯖の味噌煮は人気が高かったりする。</p> <p>パンの人気は低い。美味しくないとかではないが、「このおかずには絶対ご飯だろう。」という日にパンが出てくる。</p>
市の発言	<p>栄養士が栄養バランスやカロリーなど、健康のことを考えて毎日献立を作っているのだから、こういった声があったということ伝えてみる。(本村市長)</p>
中学生の発言	<p>給食の時間が短いので、開けちゃったけど食べきれないという時もある。</p> <p>給食当番が2分で帰ってきたとしても、食べる時間は10分から多くても15分くらいしかない。</p>
市の発言	<p>令和8年12月から全員喫食が始まると給食当番で配膳をすることになるので、今よりもっと時間が必要になる。その点は先生方ともよく話し合って検討していきたい。(鈴木教育長)</p>
中学生の発言	牛乳はストロー無しで飲む人もいますが、全員分のストローが用意されているため、ストローが余っている時がある。その分のストローをなくさないと思う。
市の発言	元々は、プラスチック削減を目的にストローレス容器の作成を依頼していたが、反面、ストローがないと飲めないという生徒もいるので、今は希望制をとつ

	<p>ている。ただ今話を聞いた中ではそのルールがなくなっていることがわかったのもう一度話をしてみる。 (鈴木教育長)</p>
中学生の発言	<p>部活のことについて、教員の働き方改革もある中で、部活の時間がどんどん少なくなってきた。例えば朝練や夜練がなかったり、休日の時間が少なくなったりしている。働き方改革による子どもへの影響を市としてどのように対策していくのか聞きたい。</p>
市の発言	<p>働き方改革とは別に、部活は新型コロナウイルスが流行した時に活動時間を削減した。今は国のルールに従ってはいるが、他市と比べると平日が1日少ない3日を基準とし、土日はどちらか1日となっている。朝練は無く、放課後も2時間程度となっているが、市内の他の中学校では3時間やっている所もある。</p> <p>そういった話もあったことから、中学2年生に対して部活に対するアンケートを実施した。5割以上の生徒は「今のままでいい」、2割は「まだ多い」、3割が「もっと増やしてほしい」という結果だった。 (鈴木教育長)</p> <p>私のところにも中学生や保護者の方から「部活の時間をもっと増やしてほしい」という声が多く、その都度鈴木教育長にも共有をしている。教育委員会では「在り方検討会」の中で地域移行も含めて議論をしており、3割の「もっとやりたい」という声をどう捉えていくか検討をしていく。</p> <p>逆にどう思っているのか教えてほしい。 (本村市長)</p>
中学生の発言	<p>部活に入ると休みにくい雰囲気もあるので、これ以上増えると受験に影響してくる。塾の時間に被ると部活に行けなくなることもある。</p> <p>スタンダードとロングという、部活が早く終わる人と、その後まで残ってやれる人の制度があるので、「もっとやりたい」という人たちがそういった制度を使えるような選択制にできたらいいと思う。</p> <p>部活の時間は今の時間で十分だと思っているが、部活の種類が少ないと思うのもっと増やしてほしい。</p> <p>最近クラブチームが市内でもできていて、今の部活の練習時間では中学校から競技を始めた場合勝てないことが多く、県大会に進むのはほとんどクラブチームになってきてしまっている。</p> <p>部活を3時間やると先生たちの負担も大きく、部長・副部長をはじめ自分たちで部活をまわすことが多くなっている。顧問の先生に聞いてみたら「部活はやりたいし、教えたい」というのが本音みたいだが実際にそこまで手が回らなくなっている。</p>
市の発言	<p>今日参加している皆様の中でも、部活の時間が足りないと思ったり、長いと思ったり、逆に顧問の先生も同じように感じている方がいて、そういったことについて地域移行等も含め審議会で検討をしており、来年には結論を出したいと思っている。</p> <p>もう一つ先ほど話にでた種目の数についても課題となっている。他校との交流でやっていくのか、あるいは生徒にアンケートなどをして見直していくのか、教育委員会で検討をしている。 (鈴木教育長)</p>
中学生の発言	<p>部活動の時間が多い学校と少ない学校で差ができてしまい、バドミントン部の大会では、上位1位から3位がクラブチームや練習時間を長く取れる学校などに</p>

	<p>なってしまう。練習時間で順位が決まってしまうという状況なのでいち早く改善をお願いしたい。</p> <p>大和市のつきみ野中学校とよく練習試合をしたりするが、そこは朝練があるので中学校から競技を始めた人でも「こんなに上手いの？」という人が本当に多く、全然勝てない状況になっている。</p> <p>朝練をやることで脳が活性化して、1時間目の授業や、午後の部活へのやる気も出てくると思うので朝練という選択肢を考えてほしい。</p>
中学生の発言	<p>受験の話が出たが、学校によって定期テストの有無や教科数の違いがある。どうして学校によって違うのか、統一することはしないのかと気になっている。</p>
市の発言	<p>教育課程の編成は学校長が行っており、例えば台風が来た時に休校にするか、時差登校にするか、通常どおりにするかなどは学校長が判断している。成績表も学校によって様式が全然違う。テストを統一することについて教育委員会から伝えることは難しいというのが実態である。</p>
中学生の発言	<p>私の学校では定期テストの点数が良いと成績が良くなるが、他校では定期テストではなく単元テストで成績をつけるというところもあり負担が変わってくる。最終的には受験の内申点に響くので統一してほしいと思う。</p>
市の発言	<p>なかなか結論は出ないが、学校長と話しをしてみる。 (鈴木教育長)</p>
中学生の発言	<p>相模原市の文化について、さがみグリーン（さがみ菜）や津久井在来大豆など、市の特産物があると思うが、そういったものを家族や友だちに話していると知らない人が多くいる。小学校では学んだり育てたりしていたが中学校では市の文化に触れることが少なくなっているのを改善してほしい。</p>
市の発言	<p>栄養士は在来大豆で味噌を作っていたりするが、PRや発信の仕方をもう少し考える必要があると感じた。 (鈴木教育長)</p> <p>文化や歴史を皆様に知ってもらって、相模原市に対する愛着がわくようにしていきたい。 (本村市長)</p> <p>中央区で言うと、田名地区に田名向原遺跡という約2万年前の旧石器時代の居住跡があり、日本で一番古い建物遺跡と言われている。11月24日に青山学院大学の学生が企画をし「わくわく中央区バスツアー」を実施した。定員の倍くらい申込があり、まだまだ観光や文化とまでは言えないが相模原の歴史や科学に興味がある人が大勢いると思っている。引き続き区の魅力を発信していくが、色々なニーズに応えられるような発信の仕方も考えていきたいと思った。 (萱野中央区長)</p>
中学生の発言	<p>通学路の狭さが問題であると思っており、登下校時に車や自転車がが多く、雨の日は車も生徒も危険な中で登校している。</p> <p>電柱がなくなればその分道も広くなるし、最近カラスが多く、電線にとまっているカラスに怯えながら登校することもなくなるので考えてほしい。</p>
市の発言	<p>中央区の取組としては、毎月20日に交通安全パトロールを実施し、交通安全協会の皆様と一緒に街頭キャンペーンを行ったり、青色防犯パトロールカーを利用して呼びかけをしたりしている。</p> <p>道路の拡幅や電線の地中化は根本的な開発をする際に行うものであり、そのよ</p>

	<p>うな機会に実施するかどうかを考えていきたい。</p> <p>カラスの他にムクドリも多く、糞害の問題もあるので、そのあたりの対策も必要だと思った。 (萱野中央区長)</p> <p>電線の地中化は国が今進めていて、上溝の駅前は地中化されている。</p> <p>相模原のまちづくりの反省として、道路整備に力を入れてこられなかった。相模原の部分だけ拡幅しても町田、八王子、座間などでつまってしまったら一緒なので、近隣市とよく連携をしながら道路整備に力を入れて、渋滞がなくなるようにしていきたい。その一つとして電線の地中化もやっていきたいと思う。</p> <p>通学路に関しては小学生を対象にグリーンベルトを作ったりしているが、皆様の登下校時に危険箇所を見つけたら教えてほしい。</p> <p>今年度からスクールガード・リーダーという専門の危険箇所を教えてくれる方を1名配置しており、各警察署の管轄区域に1名配置していきたいと思っている。 (本村市長)</p> <p>市長から話があったスクールガード・リーダーが、通学路の危険箇所を地図に落としてくれている。</p> <p>相模原市は地域の皆様が協力して、見守り活動を行ってくれている。小学生の時は天候にかかわらずいつも「気を付けてね」と言ってくれる旗振りの方などがいる。そういった意味では、中学生になると登校班もないので自分の身は自分で守らないといけなくなってしまう。</p> <p>地域の方も皆が安全に登下校できるように気にしてくれているが、自分たちで感じた困りごとや危険箇所は学校の先生や教育委員会に連絡をしてもらえれば、その時に何ができるか考えるのでお話いただきたい。 (鈴木教育長)</p> <p>光が丘地区は大人の見守る目がとても多い地区で、母の会や独自に作っていただいている団体などがあり、交通安全に関して市内でもトップクラスの地区ではないかと思っている。 (萱野中央区長)</p> <p>道路に穴があいている、水たまりがすぐできるなど気づいたことがあれば「パッ！撮るん。」というアプリから携帯で通報できる仕組みがあるので、そういったツールがあることも知ってもらおうといいなと思う。 (本村市長)</p>
--	--

<p>市長の感想等</p>	<p>いつでも自分の意見を持ってほしい。もちろん人に合わせることは大事だし決まったことは皆で進めようということも大事だが、「自分ならこうやりたい」「こうしたらいい」という意見を持って、そして大人に向かって成長してほしい。この発言をしたら嫌われるかな、この発言したらよくないかなと思うことも、勇気を持って言ってほしい。まずは皆様が思っていることを、自分の言葉で言うことで、皆様の自己肯定感がどんどん高まって、良い世の中になるのではないかと思っている。</p> <p>相模原のことをもっともっと好きになってもらい、皆様からも相模原の魅力を発信してもらえるようにしていきたい。</p>
---------------	---

過去は変えられないが、未来はいくらでも変えられるので、私が普段から言っている「子育てするなら相模原」「第2、第3の人生を楽しむなら相模原」「起業するなら相模原」「教育を受けるなら相模原」を掲げ、市民の皆様が一番身近な基礎自治体である相模原市が市民と一緒に考えて、実現していくことがこのまちをわくわくする形に変えていくと思っており、そのポテンシャルがこの光が丘地区に特にたくさんある。住んでいる人、生活している人、皆が生き生きしていて素晴らしい先輩がたくさんいるので、ぜひ自分たちのまちに誇りを持ってほしい。

市長をはじめ教育長や区長、職員に対して「こんな相模原市にしていきたい」ということをまた教えてほしい。

次、皆様が中学校2年生、3年生になっているのか、高校生になっているのか、社会人になっているのか、またお会いしてお話できる時を楽しみにしている。

ぜひ未来は変えられるということを思って一緒に変えていきましょう。先頭に立って、チャレンジする相模原にしていきたいと思っている。

皆様も自分の夢に向かって頑張っていただきたいということをお願いして、本日の御礼の言葉に代えさせていただきます。(本村市長)